

法話 催し

境内に満ちる歓声

今年も仏教壮年会が主催してくださる夏休み子ども会が、お寺で開催されました。毎回、お互いに名前を呼び合えるように、全員が自分の名前を書いたシールを服にはります。

おつとめさんには、みんな「ナモアミダツ」ナモアミダツ「とゆつくりとお念仏を称えます。でも静かな時間はここまで。例年、境内では竹水鉄砲遊びや流しそうめん、風船をスイカに見立てた「スイカ割り」などを行います。

「大きい声出していいの？」

「水をかけてもいいの？」

静かにしなさい、と今日はかりは言われないこともあり、準備万端の水着姿で所せましと元気いっぱい駆け回る子どもたちの歓声が、境内に満ちあふれます。

そして終盤には大人気のスイカ割り。この時もまた大歓声が響きます。

スイカ割りをする子は、本堂正面の山門から本堂へ向かって、まっすくの参道を目かくしして進みます。ほかの子どもたちは応援です。

「前、前、前！」

聞こえる声のまま一步一步近づきます。スイカまでの距離が近くなると、声援はより

いっそう大きくなります。

「右、右！」

「もっと左、左！」

「もうちょっと右ななめ！」

聞こえるままた体を動かせば動かすほど、真逆の二つの声が飛び交います。それもそのはず、自分から見て左右の指示を出している子、スイカ割りをする本人から見て左右の指示を出している子がいるからです。

大声援の中、頑張っている子どもたち、あまりの声援の多さに何が正しいのかわから

よび声がひびく

—「だいじょうぶ、そのまいいよ」—

みんなの法話



森 智崇

(もり・とまたか)

布教使

大分県玖珠町・光徳寺住職

ず、立ちつくしてしまっている子がいまいた。

私はその時、この子は、今、本当に頼りとなる声（情報）が届かない、不安のただ中にいるのだろなと思ひました。

それは、頼りたい声があつたか、頼りたくない声があつたか、迷うほど何を頼りたいのか迷うほどさまざま声に包まれ、反対に自ら心を閉ざしているのだろなと感じました。

すると、私の目の前を数人の子が、「Kちゃん、だいじょうぶ、だいじょうぶ」と、名前を呼びながら、その子のもとへ駆け寄っています。棒でたたかれる可能性もあるのに、まったくおかまいなしで、

「だいじょうぶ、そのまいいよ、いいよ」

そこにはもう左右の指示はありません。見ればみんな、これまでに同じ経験をした子どもたちでした。

閉ざされた心の中に、安心できる声が届いたのしょう。Kちゃんのスイカ割りの

再開です。そんな子どもたちの支えもあって、今年もみんなと一緒にスイカ割りを楽しめたことでした。

私を招く仏の本願

親鸞聖人は、南無阿弥陀仏の六字を、次のようにご解釈になつています。

『なま』「南無」という言葉は帰命ということである。『おん』の字は至るという意味である。また、帰命という熟語の意味で「よりのむ」ということである。この場合、説の字は悦と読む。また、帰説という熟語の意味で「よいかかる」ということである。

この場合、説の字は悦と読む。説の字は、悦と説との二つの読み方があるが、説といえは、告げる、述べるという意味であり、阿弥陀仏がその思召しを述べられるということである。中略のようなわけで、「帰命」とは、わたしを招き、喚び続けておられる如来の本願の仰せである』

(現代語訳「教行信証」74頁) 生きることに、自分をとりまく声は無数に飛び交います。わき起こる不安に心を閉ざし、一人ぼっちでさまようこともあろうでしょう。その私を、阿弥陀さまは、決して見捨てないで、なほ、よりのたのみを、よび続け、お浄土と一緒して下さっているのです。

参加した子どもたちにとって、頑張って正座をして一緒に、おつとめさん、終わりの会でスイカ割りを通じて阿弥陀さまのお話を聞いたことは、自慢できる経験になったようにです。

カット 林 義明

「ナモアミダツ」阿弥陀さまの大きなよび声が響き合います。

法座と催し

●本山

【常例布教】▽9月1日～4日＝「仏願の生起本末を聞く」松田曉氏（大分）▽4日～7日＝「浄土を目指して娑婆を生きる」小野隆志氏（山陰）▽7日～10日＝「お慈悲のすがた」木實慈教氏（長野）農朝後＝御影堂、園2時、7時＝総会所（聞法会館）※8日の農朝後は休座

【日曜講演】▽9月9日＝「京都国際映画祭の歩き方」2018の見どころ、ぜんぶ教えます!!」きょうのよしもと代表取締役・木村深雪氏園10時30分＝総会所

【法義示談】▽9月3日＝勸学・内藤知康氏園3時＝総会所

【真宗教会例会】▽9月7日＝行信教校講師・高田慈昭氏園10時＝総会所

【園本願寺参拝教化部】075-371-5181

●築地本願寺

【常例布教】▽8月31日～9月2日＝伊井智雄氏（和歌山）▽7日～9日＝北村信也氏（東京）園7時＝本堂、園10時30分、園1時＝聞法ホール

【夜の法座】▽8月31日＝伊井智雄氏▽9月7日＝北村信也氏園7時＝多目的ルーム（東京都中央区築地3-15-1）

08-3541-1131) ●札幌別院 【常例布教】▽9月1日～5日＝藤清道氏（鹿児島）園1時30分（札幌市中央区北3条西19-2-1）011-611-9322

●小樽別院 【常例布教】▽9月7日～11日＝藤清道氏（鹿児島）園2時（北海道小樽市若松1-4-17）0134-22-0744

●仙台別院 【常例法座】▽9月10日＝四下順文氏（富山）園1時（仙台市青葉区支倉町1-27）022-222-8567

●富山別院 【常例布教】▽9月5日～9日＝本多昌道氏（滋賀）園7時、10時、園1時30分※5日は午後から（富山市総曲輪2-7-12）076-421-6672

●福井別院 【常例布教】▽9月2、3日園10時＝高屋顕裕氏（福井）▽4日～6日園1時＝高木格英氏（東海）（福井市松本4-9-21）0776-23-2507

●名古屋別院 【常例布教】▽9月4日～6日＝袋田晃氏（福井）園10時、園1時（名古屋市中区門前町1-23）052-321-0028

●長浜別院 【常例布教】▽9月5日＝藤浪正明氏（滋賀）園10時、園1時30分（滋賀県長浜市南呉服町13-31）0749-62-4555

●奈良教室

【聞法の集い】▽9月5日＝「大悲のおやさま」小林明氏（奈良）園0時30分（奈良市七条1-11-4）0742-44-5878

●津村別院 【朝の仏教講座】▽9月1日＝「三つの心」相愛大教授・釈徹宗氏園7時

【土曜講座】▽9月1日＝「照らされて歩む」松永徳成氏（大阪）▽8日＝「両足尊（自分の両足で立つ）」佐々木義信氏（大阪）園1時30分

【日曜講演】▽9月2日＝「大悲の親さま」栗原光順氏（大阪）▽9日＝「たよりになるもの」義本弘導氏（大阪）園10時30分

【北御堂相愛コンサート】▽8月23日＝電子オルガン：ピアノ・相愛大学創作演奏専攻生園0時25分（大阪府中央区本町4-1-3）06-6261-6796

●尾崎別院 【常例法座】▽9月1日＝山上正尊氏（大阪）園1時30分（大阪府大阪市尾崎町2-8-19）072-472-4128

●神戸別院 【第1土曜仏教講座】▽9月1日＝椎名やよひ氏（兵庫）園1時30分

【仏婦定例法座】▽9月7日＝近藤龍樹氏（兵庫）園1時30分（神戸市中央区下山手通8-1-1）078-341-5949

●塩屋別院高松会館

【常例法座】▽9月10日＝「ご本願の教えに学ぶ」遠山信敬氏（福井）園10時、園1時（高松市東田町6-1）0877-22-3016

●塩屋別院道後会館 【布教団愛媛県支部布教大会】▽9月1、2日園1時（松山市道後緑台9-43）0877-22-3016

●山口別院 【常例法座】▽9月5日＝名護谷正見氏（山口）園1時30分（山口市小郡花園町3-7）083-973-4111

●別府別院 【常例法座】▽9月5、6日＝高田聡信氏（熊本）園1時30分（大分県別府市北浜3-6-36）0977-22-0146

●佐賀教室 【常例布教】▽9月6日＝多門龍法氏（佐賀）園1時30分（佐賀市内1-2-2）0952-23-7017

●熊本別院 【定例法座】▽9月6日＝亀原涉海氏（熊本）園1時30分（熊本市中央区坪井2-3-32）096-343-8283

●人吉別院 【永代経法要】▽9月1日＝同別院職員園1時30分（熊本県人吉市七日町25）0968-22-3316

●鹿児島別院 【常例布教】▽9月1日～8日＝黒屋善文氏（鹿児島）園6時30分（鹿児島市東千石町

21-38）099-222-0051) ●真宗学寮 【広済会法座】▽9月1日～3日＝「佛さまの願いを聞く」同学寮講師・東元晃慈氏園9時、園1時30分※1日は午後から（広島市西区南観音2-8-15）082-24-7-1253

●相愛大学 【市民仏教講座】▽9月1日＝「覚如上人・存覚上人と本願寺」同大客員教授・直林不退氏園1時30分（大阪市住之江区南港中4-4-1）06-6612-5932

●東京ビハーラ 【がん患者・家族語らいの会】▽9月8日＝「終末期医療における僧侶の役割」僧侶・中原登世子氏園1時30分（東京・築地本願寺、圓同会）03-565-3418

●光明寺仏教講座 【本願寺の成り立ち】▽9月1日＝「大谷廟堂の創建と真影の安置」本願寺史料研究所研究員・岡村喜史氏園3時（東京都港区虎ノ門3-25-1・光明寺）03-3431-5985

●専精会東京支部 【聖典勉強会】▽9月4日＝「恵信尼文書」行信教校講師・天岸浄圓氏園2時、受講料一般3000円（東京・築地本願寺園慈恩寺）045-934-8648

●三浦教行信証研鑽会 ▽9月6日＝「六要鈔を通して」輔教・阿部信幾氏園7時、

会費3000円（神奈川県横浜須賀市大津町4-20-10・信誠寺）046-834-0964

●神照寺日曜講演 ▽9月2日＝「称名報恩」若林浄正氏（富山）園9時（富山県射水市浄土寺142）0766-56-2781

●神照寺仏教講演会 ▽9月9日＝本願寺史料研究所研究員・岡村喜史氏園1時（奈良県田原市本町茶町584）0744-32-2477

●芦屋仏教会館 ▽9月2日＝行信教校講師・寺川幽芳氏▽9日＝聖徳宗総本山法隆寺管長・大野玄妙氏園10時（兵庫県芦屋市前田町1-5）0797-22-1562

●神戸護法会 ▽9月2日＝「蓮如上人御一代記問書」信行寺住職・米田睦雄氏園2時（神戸市須磨区戎町1-2-3・信行寺）078-732-5209

●城乾ブッダ・ダルマサロン ▽9月7日＝加藤順教氏（大阪）園1時、参加費200円（兵庫県姫路市南八代町13-8・黒田三芳氏宅園黒田美和子氏）090-6324-2397

●山口論議研修会 ▽9月10日＝「行一念義」輔教・岡村謙英氏園6時、参加費3000円、別途資料代※註釈版聖典七祖篇持参（山口市小郡花園町3-7・山口別院園事務所の石山泰人氏）0820-23-

6325) ●声明学習会（兼山口中仏東部学習会） 【中仏通信の声明を学ぶ】▽9月3日＝「正信偈・和讃、頌讃、先請伽陀、葬場勤行＜添引和讃＞、初夜礼讃偈等」誓光寺住職・村上智仁氏園1時、参加費2000円（山口県柳井市柳井3061-1・誓光寺園世話人の小山幸子氏）0820-28-0074

●真宗青年会連盟 【「正信偈」を読む】▽9月5日＝行信教校講師・天岸浄圓氏園6時30分、会費500円（大阪・津村別院2階総会所園行信教校）072-694-8048

●仏教漢詩の会「震法雷」▽9月3日園1時30分（奈良市小川町20-2・浄教寺瑞翔庵園同事務所・巨良樹氏）090-3035-6499

●8月25日、龍谷大学瀬田学舎で第26回夕照コンサート

龍谷大学瀬田学舎 S E T A D O M E（大津市瀬田大江町横谷1-5）で8月25日午後3時から7時30分まで、第26回夕照コンサートが開かれる。

同大学吹奏楽部や体育局バトン・チアスピリッツをはじめ、近隣の小中学校や滋賀県内の高校の吹奏楽部など15団体が演奏を披露する。また、模擬店も多数出店する。

J R瀬田駅から同学舎までの無料シャトルバスを運行

（午前10時から午後8時）。小雨決行。参加無料。申し込み不要。園同大学学生部）077-543）7738。

●8月26日、兵庫県芦屋市・芦屋仏教会館で聞法大会

全国布教同志会兵庫支部は8月26日午前9時30分から、第2回芦屋仏教会館聞法大会を同会館（兵庫県芦屋市前田町1-5）で開く。講題・講師は次の通り。

▽「居場所が与えられるということ」尺一順大氏（兵庫）▽「願いの中で生かされて」肥田真琴氏（和歌山）▽「浄土真宗のご利益」四夷法顕氏（兵庫）▽「お念仏の道」飯島憲彬氏（京都）▽「仏語を聴く」片岡雅子氏（四州）。

園同会事務所）090（4302）7229。

●9月4、5日、ビハーラ福岡が宿泊カウンセリング研修

ビハーラ福岡は9月4、5日、宿泊カウンセリング研修を休暇村志賀島（福岡市東区大字勝島1803-1）で開く。九州情報大学副学長・林幹男氏が「ハラスメントについて」と題し講演する。

参加費1万7000円（2日間研修のみの参加＝5000円、1日のみの参加＝3000円も可）。申し込み締め切りは8月24日。詳細はビハーラ福岡事務局の入江崇氏）090（5932）6427。

頭が下がる話

人は、どんなときに「恩」を感じ、思わず頭が下がるのでしょうか。これは、そうした体験記です。

登場者 江本孟紀／西村知美／佐伯チズ／浅井慎平／ダニエル・カール／本誌編集長

思い出写真展 一期一画 森永卓郎

◆痛を生きる◆映画／浜村淳 ◆好コラム／桂小春蘭治・谷口真由 評 ◆料理／坂本麻子 ◆これなら 連 ◆分ける歌謡抄／安方哲郎 ◆まん 載 ◆藤原ユキオ ◆仏都点描 ◆子育て相談室 ◆他、川柳・パズル

めぐみを届ける人 私たちが普段いただいているものを、作り、育て、届けようとする人たちの思いを伺いました。

御堂さん MIDO san 10 月号 仏教をわかりやすく伝える月刊誌

インターネットからでもご注文いただけます。御堂さん 北御堂 検索 御堂さん編集部（本願寺津村別院内）〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-3 E-mail: midosan-koudoku@kitamido.or.jp TEL: 06-6261-6796/FAX: 06-6261-6828

本願寺御香調進所

ほのかな香りを創って400余年

伽羅・沈香・線香 匂い袋・虫よけ香

香老舗 董玉堂

〒600-8349 京都市下京区堀川通西本願寺前 TEL (075) 371-0162 FAX (075) 343-1459 創業文禄三年(1594年)

歴史と伝統の仏具

創作と技術の仏壇

京都・本願寺御用達

鍵長法衣仏具店

◆〒600-8344 京都市下京区油小路通正面東(伝道院北) ◆電話 075(371)0854・8181・8182 ◆振替 京都7-972

各御寺院、御門徒様の 御本尊様、御影像のお修復を承ります

西本願寺法物調進所 各寺院在家法物修復

繪表所

1549年(天文18年)創業 1590年(天正18年)頭如上人より繪所を拝命 1593年(文禄2年)准如上人より表具所を拝命

〒600-8263 京都市下京区下魚棚通り堀川西入下魚棚四丁目町361 TEL (075) 371-8303 FAX (075) 371-3183